

第 1 1 6 回総務委員会と経産省ヒアリング記録

1. 開催日時 平成 2 6 年 6 月 1 8 日 (水)
- | | | |
|-----------|--------------|------------|
| 1 2 : 0 0 | 第 116 回総務委員会 | 鉄鋼会館 806 |
| 1 4 : 4 5 | 経産省ヒアリング | 経産省会議室 6 F |
| 1 6 : 2 0 | 業界紙記者と懇談 | 当組合会議室 |

2. 第 1 1 6 回総務委員会

出席者

大住昌弘 (理事総務委員長)
石原慶明 (理事長)
酒匂雅信 (副理事長・東京支部長)
高木唯夫 (副理事長・東海支部長)
浅野博之 (副理事長・大阪支部長)
柘野 (事務局)

議 題

- (1) 委員長挨拶
- (2) 経済産業省 2 Q ヒアリング資料の検討について
- (3) 4 月 1 日現在の組合員数及び賛助会員数について
- (4) 「熱切断作業の品質と安全講習会」(福山) について
- (5) 第 5 回全国青年交流会 (大分) について
- (6) 次期通常総会の開催日時および場所について
- (7) 今後の会合予定について

経 過

大住委員長の司会により議事が進められた。

(1) 委員長挨拶

大住総務委員長より、「5 月総会において理事総務委員長に選任され、本日初めて本会に出席させていただいております。本会は、組合活動全般の運営方針を検討する場として、総会及び賀詞交歓会に関する事項をはじめ、経産省鉄鋼課など対外的対応・調整に関する事項、組合員及び賛助会員の入脱会に関する事項等について審議する委員会である。各種情報をこの場にできるだけ集約し、課題や懸案事項等について迅速かつ適切に対処することとしたいので、ご協力のほどよろしくお願ひしたい。」との就任挨拶が行われた。また初出席の石原理事長からも挨拶があった。

(2) 経済産業省 2 Q ヒアリング資料の検討について

事務局より標記資料について説明、一部修正の上了承された。

(資料は別項参照)

(3) 組合員数及び賛助会員数について

平成 2 6 年 4 月 1 日現在の組合員及び賛助会員数は以下の通り。

- ①組合員数は、東京支部に 3 社が加入（㈱梶哲商店、中一鋼材㈱、㈱シー・エス・ケイ）し、全国計は 1 6 2 社となった。支部別内訳は、北海道 4、東北 5、東京 6 2、新潟 4、東海 3 4、大阪 2 0、神姫 7、中国 6、九州 2 0。
- ②賛助会員数は、㈱アマダが加入し、合計 2 2 社となった。

(4) 「熱切断作業の品質と安全講習会」(福山) について

標記講習会は、今年も当組合と日本溶接協会の共催で、8 月 2 2 日(金)に福山商工会議所で開催される。概要は、以下の通りである。

- ① 開催日時・場所：8 月 2 2 日(金)10：30～16：30 「福山商工会議所」
- ② 定員：9 0 名。
- ③ 受講料：主催・共催団体は 8,640 円（テキスト代、消費税を含む）
- ④ 講習内容：A.各種熱切断の原理と特徴 B.ガス切断の性能と品質・安全
C.プラズマ切断の性能と品質・安全 D.レーザ切断の性能と品質・安全

(5) 第 5 回全国青年交流会 (大分) について

事務局より、標記交流会の開催概要（案）について、以下の通り説明があり、審議の結果、了承された。なお、開催内容は、今後、石原理事長、浅野支部長に相談しながら、各支部青年会とも連携を図り、詳細を固めることとなった。

- ①日時 平成 26 年 10 月 17 日 (金) 大分
 - ・昼食 大分製鉄所内に弁当を用意 11：30～12：15
 - ・見学会 ①新日鉄住金・大分製鉄所 12：15～14：15
 - ②臼杵造船所 15：00～16：30
 - ・情勢懇談会（攻玉寮） 17：30～19：00
 - ・交流パーティ（攻玉寮） 19：00～20：30
 - ※攻玉寮は、新日鉄住金の研修施設
- ②集合 大分空港に 10 時集合、または J R 大分駅前に 1 1 時 1 5 分集合(前泊組)し、チャーターバスに乗車。
- ③開催要領
 - 1) 見学会（12：15～16：30）
 - ・大分空港または J R 大分駅前（経由）で、チャーターバスに乗車。
 - ・昼食（大分製鉄所内に弁当を用意）（11：30～12：15）
 - ・「新日鉄住金・大分製鉄所」を見学。（12：15～14：15）
 - ・「臼杵造船所」を見学。（15：00～16：30）
 - ・新日鉄住金の研修施設「攻玉寮」着（17：15 頃）
 - 2) 地区情勢懇談会（攻玉寮、17：30～19：00）
 - 司会：東京支部
 - ・歓迎挨拶 清水豊・九州支部長
 - ・講話 石原慶明理事長、酒匂雅信副理事長（東京支部長）
 - ・地区情勢懇談会 地区情勢について地区委員より報告（1 地区 3～5 分）

読めない状況にある。受注が平準化しないと、溶断業にとっても大きな機会損失につながる。また、深刻な問題は、受注内容が小ロット・小単重化するとともに、2次加工の注文が増え、手間・コストが上昇しているにもかかわらず、シャーはその増加分を加工賃に転嫁できていないことである。現下の需要回復局面を課題解決の好機ととらえ、採算環境改善に向けて認識を一つにしていまいりたい。輸入鋼材の入着増も看過できない状況で、シャー業にとってはしばらく我慢の時間が続きそうである。行政当局におかれては当業界の実状をご理解いただき、今後とも切れ目ない実効性のある施策を打ち出していただくよう、一層のご指導ならびにご支援をお願いしたい。」との挨拶・要望が行われた。

続いて、各支部長から地区情勢報告が行われた後、鉄鋼課より、「橋梁の設計能力不足等で、工事遅れは出ているのか。」「いま建設工事の遅れている分は、今後徐々に長期間にわたり出てくるのか。」「加工賃の是正は喫緊の問題だと思うが、その土壌は整ったのではないか。国交省など公共系の橋梁案件は、価格是正されているか。民間系はどうか。」「建産機分野の価格転嫁は進んでいるのか。」、等の質問が出され、種々意見が交換が行われた。

以上